

議会受付番号	鎌議第 1473 号
質問者	上島 寛弘議員
答弁する者	教育部長(教育部教育指導課)

文書質問に対する答弁書

鎌倉市議会基本条例第7条第3項(鎌倉市議会会議規則第105条)の規定による文書質問について、次のとおり答弁いたします。

1 件名

社会科の教科書に対する事前評価

2 質問の要旨

鎌倉市立小学校の社会科教科書について、教科用図書採択検討委員会がつけた評価は其々何か。又、その理由は何か明らかにせよ。

鎌倉市立中学校の歴史、公民の教科書について、教科用図書採択検討委員会がつけた評価は其々何か。又その理由は何か明らかにせよ。

教科用図書採択検討委員会の構成を明らかにせよ。

その内、教職員労働組合に属する者はいるか。

各委員は、上記の小学社会科、中学公民、歴史に各社教科書について、どのような理由でどのような評価をしたか。

教科用図書採択検討委員会の目的とは何か。

3 答弁

小学校の社会科の教科書及び、中学校の歴史、公民の教科書について、教科用図書採択検討委員会がつけた評価とその理由は、別紙報告書の内容になります。

教科用図書採択検討委員会の構成は、次の10名です。

- (1) 鎌倉市立小・中学校校長会の代表…3名
- (2) 鎌倉市学校教育研究会の代表 …3名
- (3) 鎌倉市立中学校教員の代表 …2名
- (4) 保護者の代表 …2名

その内、中学校教員2名の中で教職員労働組合に加入している者はいませんが、労働組合からではなく、校長会からの推薦です。

各委員の意見は、議事録で公表しています。今年度については、現在準備中です。

教科用図書採択検討委員会の目的は、教科用図書を調査研究し、教育委員会で教科用図書を採択するための資料を作成することです。

種目 社会

発行者番号	発行者略称	書名	総合評価	総合評価の内容
2	東書	新編新しい社会	☆☆☆	<p>学習の流れを見開きページで「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」が示され、問題解決的な学習の過程がわかりやすい構成となっている。</p> <p>1 単位時間の内容を見開きで示し、本時の「めあて」やその時間の学習段階がわかるよう工夫されている。また単元をまとめるページでは、自分の考えを整理して表現する手がかりを示し、記述する欄が設けられている。</p> <p>写真やイラストなどの資料が見やすい大きさと豊富に扱われており、児童の考え方が深めやすくなっている。</p> <p>鎌倉時代の内容に関する記述や、防災教育に関する教材も充実した内容となっている。</p>
17	教出	小学社会	☆☆☆	<p>目的を持って学習できるよう、学習の流れが「つかむ」「調べる」「まとめる」「深める」という構成になっている。また、神奈川県資料が多く、児童にとって身近な教材で学習することができる。</p> <p>3、4年生の上巻巻末に、社会科の学び方の基礎・基本についてガイドする「わくわく社会科ガイド」という特設ページが設けられている。</p> <p>資料の示し方に工夫が見られたり、「持続可能な社会」について理解を深め、考える教材を多面的に紹介したりして、地球規模で考えることのできる内容となっている。</p>
38	光村	社会	☆☆☆	<p>ホップ（見つける）、ステップ（調べる、話し合う）、ジャンプ（まとめる、ひろげる）という言葉を使って、学習の道筋を段階的に示し、主体的に学ぶことができる構成になっている。</p> <p>神奈川県資料が多く、身近な資料で学習することができる。</p> <p>本文にはあまり説明的な文章はないが、児童からの視点を重視した、学習のすすめ方や学び方のヒントが多く記述されている。</p>
116	日文	小学社会	☆☆☆	<p>小單元ごとに、「ふりかえってみよう」という学習のまとめがあり、大單元ごとに「大きくジャンプ」という発展学習がある構成になっている。</p> <p>資料の活用や学習活動を促すために、「考えるヒント」や「やってみよう」といったコーナーが設けられている。</p> <p>「学び方・調べ方コーナー」では、資料の注目する点を示し、資料同士を関連付けるなどして調べ学習につなげ、主体的な学習ができるように工夫されている。</p>

種目 社会
(歴史的分野)

鎌倉市教科用図書採択検討委員会報告

発行者番号	発行者略称	総合評価	総合評価の内容
2	東書	☆☆☆	教科書の導入となる見返しや、各単元の導入では、学習内容に関連する写真が豊富に掲載されており、生徒の学習への関心・意欲が高められるように構成されている。 各時代の学習が「導入部→展開部→終結部」という流れで構造化する工夫がされており、授業を進める上で進めやすい。 各章のはじめにその章で学習する内容がイラストや年表で示されており、生徒の興味・関心を高めるための工夫がされている。また、各章の終わりに、その章のまとめと次章で学習する内容が年表としてまとめられており、歴史の流れがつかみやすくなっている。 歴史上の女性を紹介するコラムが設けられ、男女平等の意義について考え、自己と他者を尊重する態度が養えるように構成されている。
17	教出	☆☆	各ページに年表が設けられ、学習する時代が明示されており、歴史の流れをつかみやすくなるように工夫されている。 小学校で学習した歴史上の人物や文化遺産を振り返りながら、時代区分や年表の見方を確かめる活動を通して、中学校の学習へのなめらかな接続が図られるように構成されている。 タイトルには、学習内容を象徴的にイメージさせる主題と、学習事項を示す副題がつけられており、併せて「学習課題」を明示することで、生徒が課題意識をもって学習に取り組めるように構成されている。
35	清水	☆	判型はB5判を採用しており、コンパクトで持ち運びやすく、見開き2ページあたりの文字数が少なく、簡潔でわかりやすくまとめた形で表現されている。 章扉において、各章で扱う時代を代表する写真、小学校で学んだ事項に関する写真を配置し、それらを読み取ることや問いかけによって、これから学ぶ時代の特色がつかみやすくなっている。 「もっと知りたい歴史」や「歴史のとびら」というページを單元ごとに設け、生徒が興味をもって、発展的な学習ができるよう構成されている。
46	帝国	☆☆☆	各時代の生き生きとした人々の姿をイラストにした「タイムトラベル」が設定されており、迫力あるイラストによって、生徒が興味・関心や課題意識をもって学習へ取り組めるよう工夫されている。また、過去の人々のたくましく生き生きとした営みや当時の様子をイラストから発見し、それらの歴史的な意味について考えることができるように構成されている。 各部の終わりには「学習をふりかえろう」が設けられ、生徒自身が「時代を大観し表現する活動」(言語活動)がしっかりと達成できるように構成されている。また、「確認しよう」では、学習してきた知識の習得をはかり、「説明しよう」では、習得した知識を活用した上で、時代の特色を話し合い、それを表現する活動を行えるように工夫されている。また、判型はAB判を採用し、図版が鮮明で大きく、本文と資料とのバランスもよく見やすい。
116	日文	☆☆	各編の冒頭に、図版と世界地図が設けられ、日本の歴史の背景となる世界史との関連が示されている。 見開きページの左側にポイントとなる語句の欄が設けられており、学習の「まとめ」として使用できるようになっている。また、各ページに時代区分と世紀を併記した年表が縦書きで設けられており、歴史の流れがつかみやすい。 「先人に学ぶ」「歴史を掘り下げる」などで、教科書本文の内容を補充・深化させ、今日的課題の歴史的背景や、地域・先人に学ぶことが重視されている。歴史を学び、そこから自分たちの生き方に活かしていく態度が育成できるように構成されている。

鎌倉市教科用図書採択検討委員会報告

発行者番号	発行者略称	総合評価	総合評価の内容
225	自由社	☆	<p>歴史が一貫したストーリーとなるように編集されている。また、「もっと知りたい」というコラムが設けられており、さまざまなエピソードから、歴史を多面的・多角的にとらえられるよう構成されている。</p> <p>コラム「人物クローズアップ」や「外の目から見た日本」が各時代に掲載され、読み物資料を通して、生徒の興味・関心が高められるように構成されている。</p> <p>各章の終わりに「歴史豆辞典」が設けられており、授業で学んだ用語が整理して解説されている。</p>
227	育鵬社	☆	<p>各章の冒頭に各時代の歴史の大きな流れが一目でわかる「歴史絵巻」が設けられており、『鳥の目で見ると』で歴史の流れが大観できるようになっている。また、『〇〇の世界へようこそ！』で、各時代を象徴する歴史的事象に注目して、『虫の目で見ると』で時代の特色がつかめるようになっている。</p> <p>近現代史では、人物に関する図版が多く、また、「人物クローズアップ」「なでしこ日本史」「歴史ズームイン」などのコラムから、人物の考え方や功績等を学ぶことで、その時代の特色をつかむとともに、生徒の興味・関心が高められるように構成されている。</p>
229	学び舎	☆	<p>各章の扉ページでは、世界を俯瞰できる地図の上に、その時代ごとに設定したテーマに基づいて、世界の状況がビジュアルに示されている。年表ページでも日本と同時代の世界の事項が丁寧に記載されて、特に写真や図が効果的に入れられている。</p> <p>各ページの表題や文章の書き方が工夫されており、その時代を生きた人の目の高さから、当時の様子や人々の姿が、生き生きと記述されている。また、歴史的記述も多く、文献資料も充実しており、さまざまな切り口から授業が展開できるように構成されている。</p>

種目 社会
(公民的分野)

鎌倉市教科用図書採択検討委員会報告

発行者番号	発行者略称	総合評価	総合評価の内容
2	東書	☆☆☆	<p>各章や1単位時間の学習を、「導入部→展開部→終結部」という流れで構造化し、基礎的・基本的な知識や概念を確実に習得できるようにしている。また、導入部と終結部の教材に関連性をもたせることで、章の学習の流れを明確化し、学習の成果を終結部で活用できるように工夫されている。</p> <p>冒頭の「公民学習の初めに」では、地理・歴史の資料を掲載し、両分野の内容と公民的分野とのつながりを示すことで、地理・歴史と公民との円滑な接続を図れるように配慮されている。</p> <p>本文での学習内容を補充する「公民にアクセス」が設けられており、関連した知識を確実に習得できるように構成されている。</p> <p>経済的分野の導入に「コンビニエンスストアの経営者になってみよう」が設けられており、生徒に興味・関心をもたせるように工夫されている。</p>
17	教出	☆	<p>見開きのページのはじめに、学習内容を象徴的にイメージさせる主題と、学習事項を示す副題をおき、併せて「学習課題」を明示することで、生徒が課題意識をもって学習に取り組めるように構成されている。また、「ふりかえる」や「読み解こう」のコーナーを設けて、学習内容の定着を図れるようになっている。</p> <p>終章「私たちにできること」では、地理や歴史の学習もふまえながら、持続可能な未来を妨げる今日的な課題とその解決について探究することができるように構成されている。</p>
35	清水	☆	<p>本文の補完または具体的な展開例として、「もっと知りたい公民」「深める公民」が全編の各所に配置されており、本文で記された社会的事象や現代的課題について多面的・多角的に考察を行うとともに、作業学習・調べ学習などを行うためのページとして活用できるように構成されている。</p> <p>冒頭に、まえがきとして「学習のはじめに」が設けられており、「公民って何だろう」と生徒に問いかけることで、生徒の興味・関心を喚起するだけでなく、地理・歴史の学習の成果の上に立つ公民の学習ということが明確になっている。</p>
46	帝国	☆☆	<p>各部の初めに、「学習の前に」が設けられており、大きなイラストや資料からの読み取り作業を行うページがあるので、生徒一人ひとりが自分なりにイラストから学習内容に関する事象を探し出し、主体的に学習に取り組む意欲を高められるようになっている。</p> <p>本文や資料で学習を進めたのちには、見開きの最後に、「確認しよう」「説明しよう」が設けられ、学習内容を本文などから確認する作業をすることができるようになっており、知識が定着しやすいように配慮されている。</p> <p>「トライアル公民」などのページを設け、写真や統計資料を多く掲載し、具体的な事例から考え、思考力、判断力、表現力を育成することができるように構成されている。</p>
116	日文	☆☆	<p>巻頭の「日本の現代史年表」「現代の世界のようす」では、地理や歴史の学習成果をふり返りつつ、公民の学習との関連が示唆されている。「公民との出会い」では、夜の地球の衛星写真と、火をモチーフにした写真を掲載し、持続可能な社会への関心を高めるように構成されている。</p> <p>「チャレンジ公民」「情報スキルアップ」などの特設ページに図や統計資料を多く載せ、論理的に考える力や表現力、資料活用の技能を育てる工夫がされている。</p> <p>学習の締めくくりとなる「わたしたちの課題」の単元では、レポートづくりを行う際の具体的なテーマと作業手順が数多く提示されている。</p>

発行者番号	発行者略称	総合評価	総合評価の内容
225	自由社	☆	<p>生徒の興味関心を高めるために、「紹介する主な人物」の目次が掲載されており、興味をもって学習を深めることができるように配慮されている。また、読み物資料の数も多く、生徒が興味関心をもちやすい構成になっている。</p> <p>3年間のまとめとして、「ディベートをやってみよう」「レポートと卒業論文をつくろう」というコーナーが設けられており、自分で考え、調べ、まとめ、表現する活動が取り入れられており、生徒の言語活動が充実するよう構成されている。</p>
227	育鵬社	☆	<p>はじめに見開きページの学習課題を提示し、学習の終わりに、学習内容を説明できるように構成されている。また、「社会科のまとめ」として、テーマを決めて、レポートを作成する活動を通して、持続可能な社会を形成するという観点から、私たちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題を探究させ、自分の考えをまとめさせることに力を入れている。</p> <p>新聞記事が多数掲載されており、自分たちが生きている社会を教材にすることで、社会の諸問題に着目させ、自主的に考える態度が養えるように構成されている。</p>